

## SEAT STRUCTURE FOR VEHICLE

Patent Number: JP7052715  
Publication date: 1995-02-28  
Inventor(s): SAKURAI AKIHIRO; others: 02  
Applicant(s): SUZUKI MOTOR CORP  
Requested Patent: JP7052715  
Application Number: JP19930198177 19930810  
Priority Number(s):  
IPC Classification: B60R7/04; A47C7/62  
EC Classification:  
Equivalents: JP3070810B2

---

### Abstract

---

**PURPOSE:**To provide a vehicle seat where a storing container arranged under a cushion body can surely be fixed.  
**CONSTITUTION:**A vehicle seat consists of a seat cushion consisting of a cushion frame and a cushion body 5, and a seat back mounted on the rear end part of this seat cushion, and the cushion body 5 of the seat cushion is mounted on a cushion frame 2 in a turnable manner facing forward around the fore end part. This constitution allows a storing container 27 to be removably mounted on the space on the lower side of the cushion body 5, and engaged with the upper ends of both side parts of the cushion frame at the outer side of the upper end of both side parts, and a flange part 28b whose transverse section is of projecting shape is provided, and an elastic body 34 which is pressed against the flange part 28b in the set condition is mounted on the lower side of the corresponding cushion body 5, and setting is made so that a wall surface 27a of the storing container 27 may be brought into contact with the outer side surface 33a of the cushion body 5 corresponding to the pressure of this elastic body 34.

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-52715

(43)公開日 平成7年(1995)2月28日

(51)IntCl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 R 7/04	S	8012-3D		
A 4 7 C 7/62	A	8313-3K		

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平5-198177

(22)出願日 平成5年(1993)8月10日

(71)出願人 000002082  
スズキ株式会社  
静岡県浜松市高塚町300番地

(72)発明者 櫻井 昭弘  
静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式  
会社内

(72)発明者 木村 志朗  
静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式  
会社内

(72)発明者 井口 卓  
静岡県周智郡森町谷中1341-2

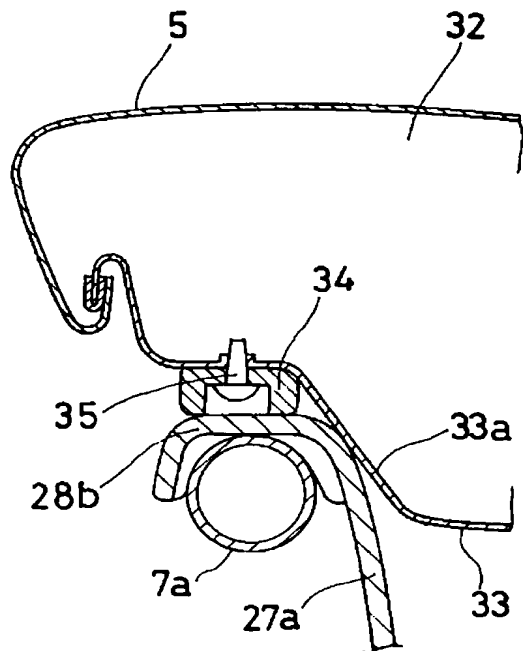
(74)代理人 弁理士 奥山 尚男 (外2名)

(54)【発明の名称】 乗り物用シート構造

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 クッション本体下部に配設した収納容器の固定を確実に行うことができる乗り物用シートを提供する。

【構成】 クッションフレーム4とクッション本体5からなるシートクッション2と、このシートクッション2の後端部に装着されたシートバックで構成され、上記シートクッション2のクッション本体5を前端部を中心に前方に向けて回動可能に上記クッションフレーム2に装着し、該クッション本体5の下部側空間部に、収納容器27を脱着可能に取付け、両側部の上端外側に、上記クッションフレーム4の両側部上端に係合するとともに横断面凸面形状のフランジ部28bを設け、対応するクッション本体5の下面に、セット時に上記フランジ部28bに圧接する弾性体34を装着し、この弾性体34の押圧に対応して、上記収納容器27の壁面27aが上記クッション本体5の外側面33aに当接するように設定する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 クッションフレームとクッション本体からなるシートクッションと、このシートクッションの後端部に装着されたシートバックで構成され、上記シートクッションのクッション本体を前端部を中心に前方に向けて回動可能に上記クッションフレームに装着し、該クッション本体の下部側空間部に、収納容器を脱着可能に取付けた乗り物用シート構造において、上記収納容器の少なくとも両側部の上端外側に、上記クッションフレームの両側部上端に係合するとともに横断面凸面形状のフランジ部を設け、該フランジ部に対応するクッション本体の下面に、上記クッション本体のセット時に上記フランジ部に圧接する弾性体を装着し、この弾性体の押圧力に対応して、上記収納容器の壁面が上記クッション本体の外側面に当接するように設定したことを特徴とする乗り物用シート構造。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、クッション本体の下部側空間部に収納容器を設けた乗り物用シート構造に関し、詳しくは収納容器の位置決めを確実に行うことができる乗り物用シート構造に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 自動車等の乗り物では、室内空間が限られていることから、荷物の収納には自ずから限りがある。そこで、たとえば、自動車ではシート下部空間を利用するようにしたものがある。

【0003】 図13はシート下部空間を利用して収納部を設けるようにしたシート構造で、このシート構造はシートクッション100の下部空間に、前後方向に互いに対向するレール101を設け、このレール101に沿ってスライド可能なアンダートレイ102を設けたものである。この従来技術によると、アンダートレイ102の取り外しを簡単に行うことができないばかりでなく、後部座席からの取り出しは不可能であった。

【0004】 そこで、自動車の助手席側のシートのクッション本体を前方に立ち上がるように回動させて、クッション本体の下部空間を利用するようにした従来技術（実開平2-61746号公報）が知られている。この従来技術は、図14に示すように、クッション本体103の前端をフレーム104に回動可能に装着し、このフレーム104の内側に箱状体105を配置したものである。

【0005】 この従来技術は箱状体105の内部を物入れに利用するもので、クッション本体103を前方に引き起こして、箱状体105の上面を開口するようにしたものである。

## 【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従来技術によると、箱状体105の取り出しが困難で、箱

状体105を籠代わりに持ち運ぶことはできなかった。また、箱状体105がフレーム104内でガタ付く虞がある。

【0007】 本発明は上記課題を解決し、収納容器の固定を確実に行うことができる乗り物用シート構造を提供することを目的とする。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記課題を解決するため、クッションフレームとクッション本体からなるシートクッションと、このシートクッションの後端部に装着されたシートバックで構成され、上記シートクッションのクッション本体を前端部を中心に前方に向けて回動可能に上記クッションフレームに装着し、該クッション本体の下部側空間部に、収納容器を脱着可能に取付けた乗り物用シート構造において、上記収納容器の少なくとも両側部の上端外側に、上記クッションフレームの両側部上端に係合するとともに横断面凸面形状のフランジ部を設け、該フランジ部に対応するクッション本体の下面に、上記クッション本体のセット時に上記フランジ部に圧接する弾性体を装着し、この弾性体の押圧力に対応して、上記収納容器の壁面が上記クッション本体の外側面に当接するように設定したことにある。

## 【0009】

【作用】 収納容器を使用するときは、クッション本体のバンドを引くと、ラッチ本体が引かれてストライカとの係合が解除される。そして、バンドを更に引いてクッション本体を引き起こす。こうして、クッション本体はヒンジを中心に回動して前方に引き起こされる。クッション本体が引き起こされると、収納容器の上面が開口して、買い物等をした荷物を収納容器内に収納することができる。収納容器は取っ手を留め部から外して、引き上げるにより、サイドフレームの上端フレーム部から外して持ち歩くことができる。そして、クッション本体をセットすると、クッション本体の下面に設けられた弾性体の圧縮により、収納容器の壁面がクッション本体の外側面に当接するので、収納容器の位置決めを確実に行うことができる。

## 【0010】

【実施例】 以下、図面を参照しながら、本発明の一実施例を詳細に説明する。図1ないし図4において、1は自動車の助手席に適用されたシートである。このシート1はシートクッション2と、シートクッション2の後端部にリクライニング機構（図示せず）を介して設けられたシートバック3とで構成されている。シートクッション2はクッションフレーム4とクッション本体5とで構成されており、クッション本体5はクッションフレーム4との間に設けられたヒンジ機構6を介して前端部を中心にして前方に向けて回動可能に設けられている。

【0011】 上記クッションフレーム4は、図5および図6に示すように、四辺形に構成した一对のサイドフレ

3

ーム7、7と、これらサイドフレーム7、7の前端上部相互間および後端上部相互間に掛け渡された前部パイプ8および後部パイプ9とで構成されている。このクッションフレーム4の片側のサイドフレーム7にはシートベルト用バックル10が装着されている。

【0012】クッションフレーム4の下部にはブラケット11が溶着されており、このブラケット11をスライドレール12に取り付けている。このスライドレール12は上記ブラケット11にボルト13およびナット14を介して固定されるアッパーレール15と、このアッパーレール15をスライド可能に支持すると共にフロア16に設けられたブラケット17等に前後のブラケット18を介して固定されるロアレール19とで構成されている。このブラケット18はロアレール19の前端に設けられたブラケット18aと、ロアレール19の後部に設けられたブラケット18bの他にロアレール19の後部室内側のブラケット18bに一体成形され、かつフロア16中央のフロアトンネル（図示せず）に固定されるブラケット18cで構成されている。このスライドレール12のアッパーレール15とロアレール19は横断面コ

字型のレール部15a、19aを互いに対向させて構成され、アッパーレール15の上部側フランジ部15bをロアレール19の上部側フランジ部15bの下部側に位置するように横断面U字状に形成し、ロアレール19の下部側フランジ部15cをアッパーレール15の下部側フランジ部15cの上部側に位置するように横断面逆U字状に形成している。

【0013】上記クッションフレーム4の外側面にはカバー20が設けられており、このカバー20の外側にリクライニング装置のレバー21が設けられている。上記クッション本体5の後端部にはクッション本体5を引き起こすバンド22が設けられており、このバンド22はクッション本体5に設けられたラッチ機構23を解除するためのものである。ラッチ機構23は図7に示すように、ラッチケース24内に内蔵されたパネ（図示せず）によってラッチ本体25が付勢されており、このラッチ本体25に係合するストライカ26がクッションフレーム4の後部パイプ9に装着されている。ラッチ機構23は上記バンド22を引くことでラッチ本体25をパネに抗して作動し、ラッチ本体25とストライカ26の係合を解除するものである。

【0014】27は上記クッション本体5の下部側空間部に、脱着可能に配設された合成樹脂製または塩化ビニール鋼板製の収納容器であり、この収納容器27は、図8ないし図10に示すように構成されている。この収納容器27は上端両側部および前後部に外方に向けて横断面半円形の凸面形状に湾曲したフランジ部28が形成されており、このフランジ部28のうち両側部のフランジ部28bを、上記クッションフレーム4のサイドフレーム7、7の上端フレーム部7aに係合し、フランジ部2

4

8のうち前部のフランジ部28aを、前部パイプ8に係合させて取り付けられている。上記フランジ部28a、28bの内面側には長手方向と交叉する方向のリップ28cが長手方向に所定間隔を置いて複数個形成されている。この収納容器27には、両側上端部に、ワイヤー製の取っ手29の両端が回動可能に装着されており、この取っ手29は収納容器27の前端部上面に一体成形で設けられた留め部30に係止されている。この留め部30は取っ手29の回動位置に取っ手29を留めるスリット31を形成するように、収納容器27の一部を縦向きに切り起こしたものである。

【0015】上記クッション本体5には、図11および図12に示すように、クッション32の下面に配設されたクッションパネル33の両側下面にクッションゴム34がネジ35を介してネジ留めされており、クッション本体5をセットした際に、このクッションゴム34によって収納容器27のフランジ部28bの上面が上端フレーム部7aとの間で挟持されて、収納容器27が固定されている。収納容器27はフランジ部28bがクッションゴム34によって押圧されると、壁面27aが内側に湾曲してクッションパネル33に当接し、収納容器27の位置決めが図られる。

【0016】上記構成による乗り物用シート構造によると、収納容器27を使用するときは、クッション本体5のバンド22を引くと、ラッチ本体25が引かれてストライカ26との係合が解除される。そして、バンド22を更に引いてクッション本体5を引き起こす。こうして、クッション本体5はヒンジ6機構の回転中心を軸に回動して前方に引き起こされる。

【0017】クッション本体5が引き起こされると、収納容器27の上面が開いて、買い物等をした荷物を収納容器27内に収納することができる。収納容器27は取っ手29を留め部30から外して、引き上げることに

より、サイドフレーム7、7の上端フレーム部7aから外して持ち歩くことができる。

【0018】収納容器27をサイドフレーム7、7の上端フレーム部7aにフランジ部28bを介して取付け、クッション本体5を後ろに倒すとラッチ本体25がストライカ26に係合してクッション本体5がロックされる。このとき、収納容器27のフランジ部28bはクッション本体5の両側下面に装着されたクッションゴム34によってサイドフレーム7、7の上端フレーム部7aとの間で挟持されて押さえられる。そして、フランジ部28bが広がるのに対応して収納容器27の壁面27aが内側に湾曲してクッションパネル33の外側面33aとの間隙fを塞ぐ方向に移動し（図11参照）、クッション本体5のクッションパネル33の外側面33aに当接して（図12参照）、収納容器27の位置決めを図る。こうして、走行中に収納容器27がガタ付く虞がない。

5

【0019】上記実施例の効果は以下の通りである。シートクッション2のクッション本体5を前端部を中心に前方に向けて回動可能にクッションフレーム4に装着し、該クッション本体5の下部側空間部に、収納容器27を脱着可能に取付けたので、クッション本体5を引き起こして、収納容器27内に荷物等を収納することができる。収納容器27はクッションフレーム4から離して持ち運ぶことができるので、買い物籠の代わりや容器代わりに用いることができる。また、助手席シートに適用すると、運転席や後部座席からバンド22を引いてクッション本体5を引き起こすことができるので、荷物の取り出しが容易である。さらに、収納容器27のフランジ部28bに対応するクッション本体5の下面に、上記クッション本体5のセット時に上記フランジ部28bに圧接する弾性体34を装着したので、収納容器27を適正位置に固定することができる。よって、走行時のガタ付きを防止できるので、騒音の発生を防ぐことができる。さらに、収納容器27を合成樹脂等の軟質材で成形したので、クッション本体5の開閉時の騒音を防止することができる。また、フランジ部28bが広がるのに対応して収納容器27の壁面27aが内側に湾曲し、クッション本体5のクッションパネル33の外側面33aに当接して、収納容器27の位置決めを図ることができる。なお、本発明は上記実施例に限定されず、たとえば、乗り物用シート構造は自動車に限らずモータボート等の乗り物でもよく、また、助手席シートに限らず、運転席シートに適用することもできる。また、ワンボックスカー等の後部シートにも適用することができる。

【0020】

【発明の効果】以上述べたように、本発明による乗り物用シート構造によれば次のような効果を奏することができる。請求項1において、クッションフレームとクッション本体からなるシートクッションと、このシートクッションの後端部に装着されたシートバックで構成され、上記シートクッションのクッション本体を前端部を中心に前方に向けて回動可能に上記クッションフレームに装着し、該クッション本体の下部側空間部に、収納容器を脱着可能に取付けた乗り物用シート構造において、上記収納容器の少なくとも両側部の上端外側に、上記クッションフレームの両側部上端に係合するとともに横断面凸面形状のフランジ部を設け、該フランジ部に対応するクッション本体の下面に、上記クッション本体のセット時に上記フランジ部に圧接する弾性体を装着し、この弾性体の押圧に対応して、上記収納容器の壁面が上記クッション本体の外側面に当接するように設定したので、収納容器を適正位置に固定することができる。また、走行時のガタ付きを防止できるので、騒音の発生を防ぐことができる。請求項2において、弾性体をクッション本体のクッションパネルの両側部下面に装着し、この弾性体とクッションフレーム間で上記フランジ部を挟持したの

6

で、収納容器を確実に固定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による乗り物用シート構造の一実施例を示す斜視図である。

【図2】図1のクッション本体を引き起こした状態を示す斜視図である。

【図3】図2の収納容器を引きだした状態を示す斜視図である。

【図4】図1のシートクッションを示す右側面図である。

【図5】本発明による乗り物用シート構造のクッションフレームを示す斜視図である。

【図6】図5のスライドレールを示す正面図である。

【図7】ラッチ機構を示す斜視図である。

【図8】収納容器を示す斜視図である。

【図9】収納容器を示す右側面図である。

【図10】収納容器とクッションフレームを示す部分断面斜視図である。

【図11】図4のA-A線断面図である。

【図12】図11の部分拡大断面図である。

【図13】従来の自動車用シート構造を示す斜視図である。

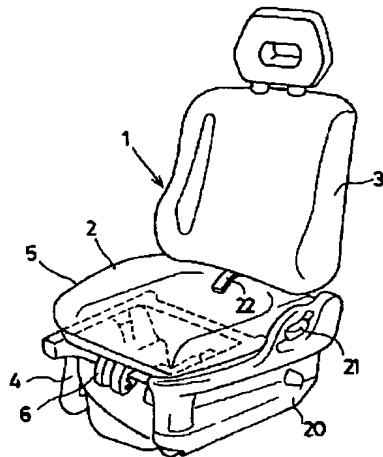
【図14】従来の自動車用シート構造を示す斜視図である。

【符号の説明】

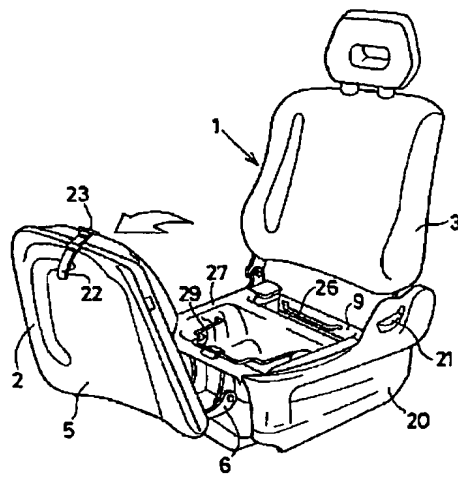
- |    |             |
|----|-------------|
| 1  | シート         |
| 2  | シートクッション    |
| 3  | シートバック      |
| 4  | クッションフレーム   |
| 5  | クッション本体     |
| 6  | ヒンジ機構       |
| 7  | サイドフレーム     |
| 8  | 前部パイプ       |
| 9  | 後部パイプ       |
| 10 | シートベルト用バックル |
| 11 | ブラケット       |
| 12 | スライドレール     |
| 15 | アッパーレール     |
| 16 | フロア         |
| 19 | ロアレール       |
| 22 | バンド         |
| 23 | ラッチ機構       |
| 26 | ストライカ       |
| 27 | 収納容器        |
| 28 | フランジ部       |
| 29 | 取っ手         |
| 30 | 留め部         |
| 31 | スリット        |
| 32 | クッション       |
| 33 | クッションパネル    |

## 34 クッションゴム

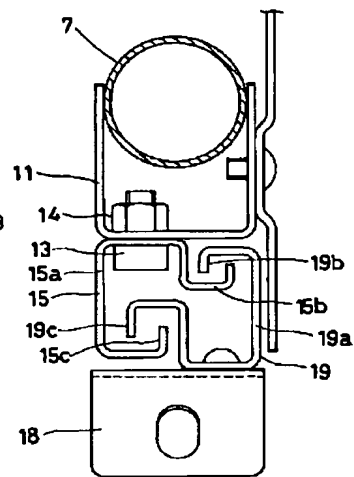
【図1】



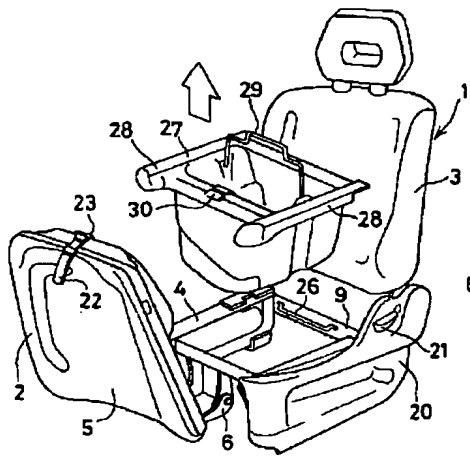
【図2】



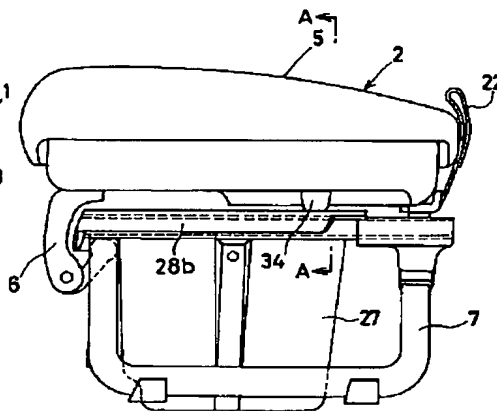
【図6】



【図3】

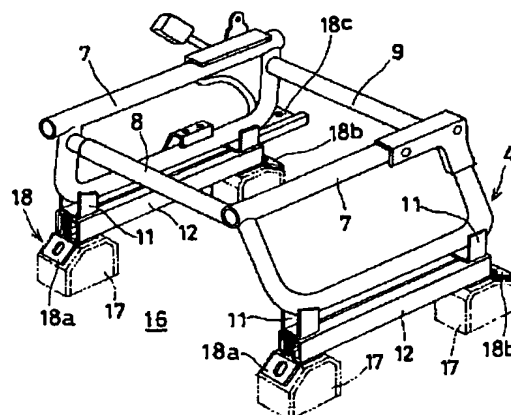
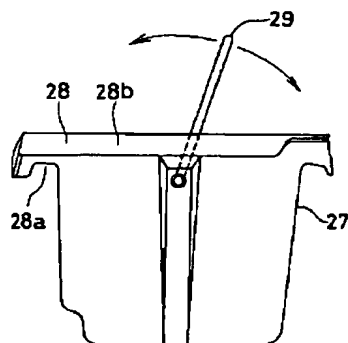


【図4】

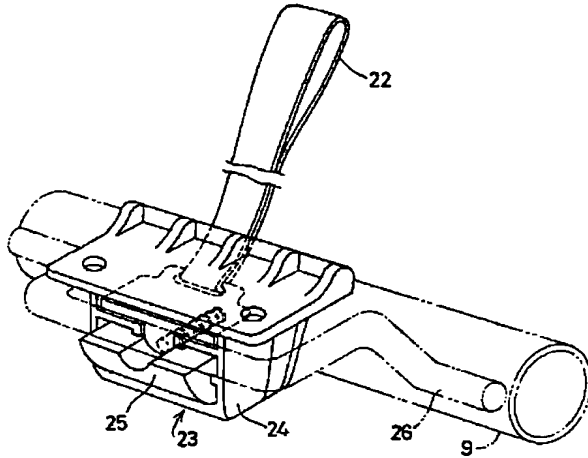


【図5】

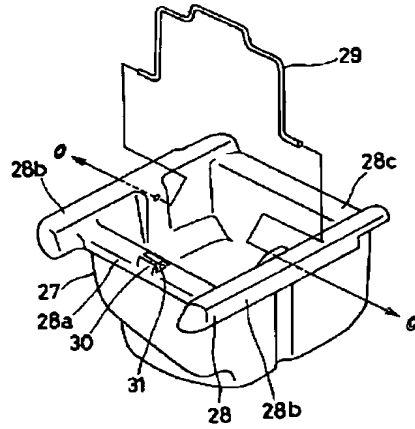
【図9】



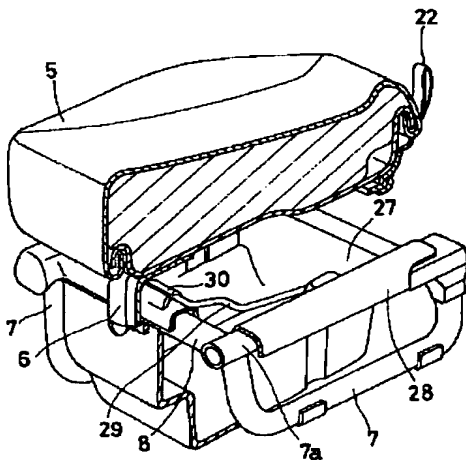
【図 7】



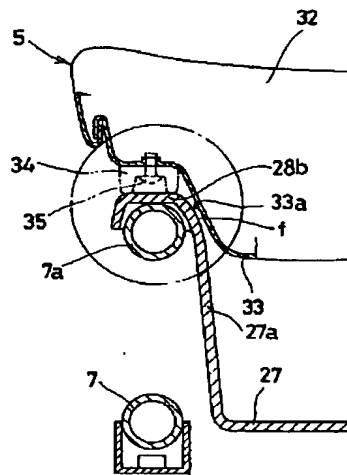
【図 8】



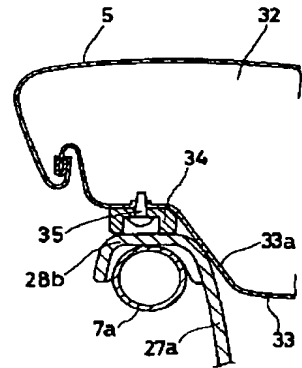
【図 10】



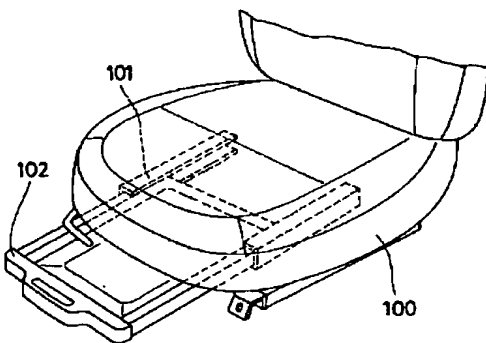
【図 11】



【図 12】



【図 13】



【図 14】

